

南太秦だより

後 期 学校評価

全4ページで、学校評価の結果をお知らせします。ぜひご一読いただき、今後の取組にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

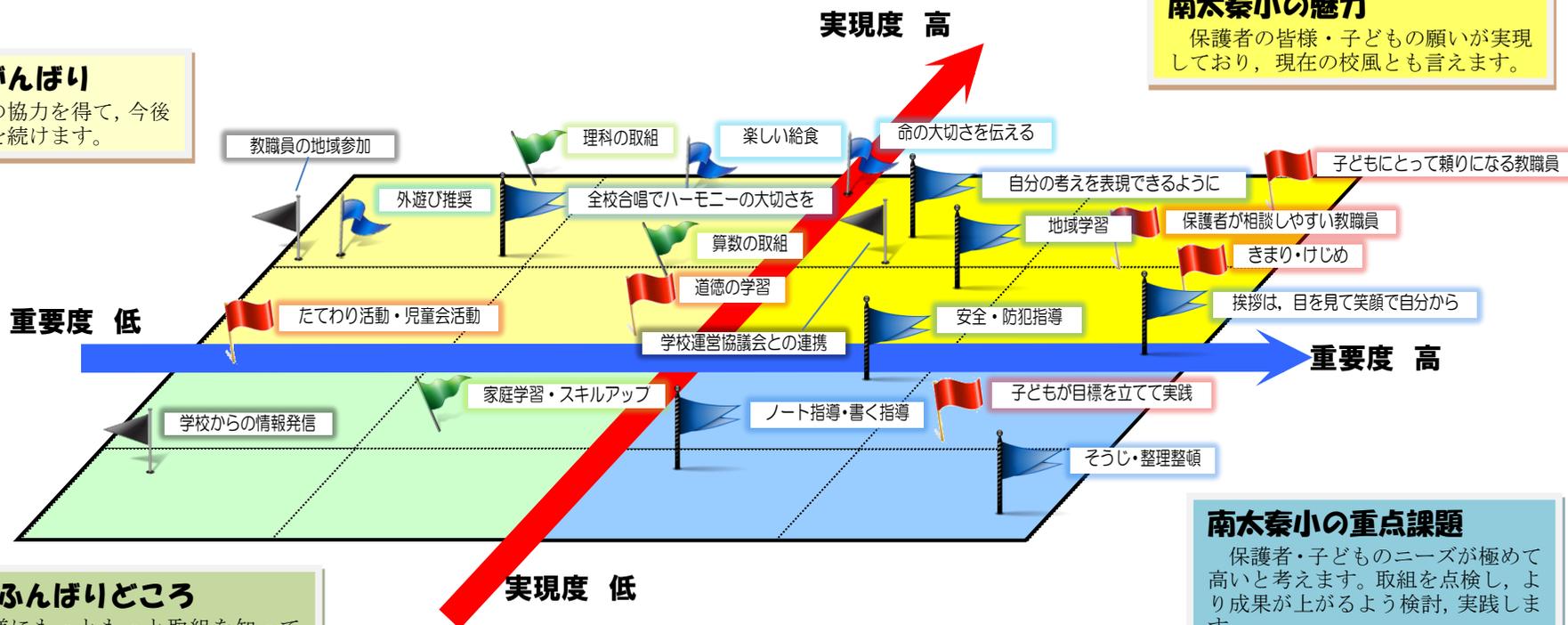
平成26年3月19日
京都市立南太秦小学校
校長 乗本 栄子

南太秦小のがんばり

保護者の皆様の協力を得て、今後も意欲的に取組を続けます。

南太秦小の魅力

保護者の皆様・子どもの願いが実現しており、現在の校風とも言えます。



南太秦小のふんばりどころ

保護者の皆様にもっともっと取組を知っていただき、協力をあおいでいきたい内容です。

南太秦小の重点課題

保護者・子どものニーズが極めて高いと考えます。取組を点検し、より成果が上がるよう検討、実践します。

平成25年度後期の重点

「豊かな心」の育成をめざす取組

「確かな学力」の育成をめざす取組

「健やかな体」の育成をめざす取組

開かれた学校づくりをめざす取組

今回も、保護者の皆様からご回答いただいたアンケートをベースとしてわたしたちがとらえた本校の現状を、図（マトリックス）に示しました。ほとんどの項目が実現度の高いエリアに入っています。保護者の皆様のご協力を得て、学校教育目標に一步、二歩と近付くことができているのを感じます。粘り強く続けている「全校合唱」が多くの保護者の方にも認知していただけたことは大きな励みです。また、教職員がこれまで以上に保護者・児童の信頼を得ることができており、今後もその姿勢が維持していく責任を強く感じています。

しかし一方で、子どもの自主性・主体性や自治能力を育むことができているか、という新たな課題が浮き彫りとなってきました。挨拶に関しても南太秦の子はよくできていると思います。しかし、「目を見て笑顔で自分から」と質を求めると、ぐっと実現度は下がるのです。他にも家庭学習の在り方やノート指導、そうじ、学校からの情報発信について、改善の必要性が見えてきました。

これからの取組 ～次年度への7つのステップ～



「**科学的な見方・考え方**」をよりいっそうはぐくむために、3～6年の「理科」、1～2年の「生活科」、育成学級の「生活単元学習」に重点を置きます。

「科学的な見方・考え方」とは、「何気ない変化に立ち止まること」「不思議だなと思うこと」「どうなるのか先を見通し考えること」「比べて判断すること」「根拠をもって説明すること」などをさしますが、持続可能な共生社会（これから先もみんながずっと幸せに生き続けることができる社会）をつくる力につながります。南太秦のもつあたたかい人、自然、社会とのかかわりを積極的に取り入れながら、とりわけ理科・生活科・生活単元学習に重点を置きつつ、他の教科領域でも充実した授業を行います。また、これまで取り組んできた環境学習・体験学習・言語を通して友だちとかかわり合い高め合う授業スタイルは大切にしていきます。



各学年の発達段階に合わせた「**名人ノート（仮称）**」を示し、子どもたちに目に見える形で目標をもたせます。

子どもたちのノートづくりの力は、研究発表会などでも他校から評価を得ています。しかし、子どもたち自身や保護者の皆様にとっては、どんなノートがいいのか分からないのが現状だと思います。新年度には、「こんなノートづくりをしよう。」ということが一目で分かる「**名人ノート（仮称）**」を配布します。子どもたちの意欲に、また保護者の皆様がお子さんのノートを見るとき基準になると思います。



できたか、できていないかが確かめられる**具体的な目標**を、子どもたち自身がもてるように指導します。

「すてきなあいさつ」…ひびきはよくても、どうすればそうなるのかわかりません。「目を見て、笑顔で、自分から」…これが具体的に何をするのかが分かる目標です。同時に、できたか、できていないかが確かめられるというよさもあります。子どもたちには、スローガンではなく、こうした**具体的な目標を立てて実践する習慣**を身に付けさせます。できるように指導・助言し、できたら認めて褒める、それがわたしたち教職員の仕事です。



学力向上につながる家庭学習（宿題）、スキルアップタイムをめざし、取組の改善をしていきます。

小学校における家庭学習（宿題）には、「学習内容の定着を図るねらい」と「自学自習の習慣を身に付けさせるねらい」があります。新年度には、「南太秦小・家庭学習のしおり（仮称）」を作成・配布する予定です。子どもたちにとって有効な家庭学習となるよう、おうちでの様子を見て、適切な声かけをお願いしたいと思います。家庭学習に関するご相談は、お気軽に担任までお願いします。また、学校での朝学習・朝読書・計算タイムなども、積み重ねのよさが実感できるよう取組を改善していきます。



学校からのおたより、ホームページをぜひご覧ください。学校の取組や子どもたちの様子をしっかりとお伝えできるよう努力します。

学校が定期的に発行するおたよりには、「学校だより」「学年だより」「学級だより」「保健だより」「人権だより」「学校運営協議会だより」の6種類があるのですが、お読みいただいているでしょうか。学校も、どのおたよりでどのような情報発信をすべきか新年度に向けて検討中です。学校と家庭をつなぐパイプラインとして、ぜひご活用いただきたく思います。また、ホームページの更新回数も、今より増やせるよう努力します。



「学校を美しく」「学校を使いやすく」が習慣化するように、引き続き清掃や整理整頓に取り組んでいきます。

多くの子どもが一生懸命に清掃活動に取り組んでいます。しかし一方で、「汚さないようにする」「元通りにする」「次に使う人のことを考える」という意識をもっともっともたせたいと考えます。1月には、学校運営協議会の皆様にご協力いただき、教職員がトイレ清掃を行いました。これからもそうじの仕方を教えたり、「範を示して整理整頓に努める教職員でありたい」と思います。



いつでも、どこでも、先生が見ていても見ていなくても守るべきあたりまえのルール**があることを日常生活の小さな場面から徹底して取り組んでいきます。**

礼儀正しく、素直な子が多い南太秦小学校ですが、大事なのに守りきることができないルールが2つあります。1つめは「ろうかを絶対」に走らない。教室であばれない。」安全な学校生活に向け徹底します。2つめは「時間を守る。すばやく行動する。」新チャイムシステムも1月から導入しています。始業時刻も8時30分になります。はじめをもってすばやく行動できるよう指導します。

学校運営協議会 理事の皆様のご意見（抜粋）

- 1) 目標を具体的にもたせる、というのはいいですね。そして、**がんばったことが目に見えるような形にしていく**と、子どもたちはどんどんやる気がわいてくると思います。
- 2) 世界のトップアスリートは、自分のノートに自分の言葉を書き綴っているそうです。それも、反省や弱音ではなく、「きっとできる」と自分を励ます言葉や、「こうすればいい」「こうなりたい」など**“プラスの言葉”**なんだとか。ノートに自分の言葉を書けるようになると、学力も向上するのではないのでしょうか。
- 3) 学校では、掃除やあとしまつが課題だと言われているが、果たして家庭でそれをさせているのでしょうか。わたしもつい自分でやってしまう傾向があります。大人がやってしまうず、**自分のこと、家の仕事を子どもにやらせる必要がある**のでは、と思います。
- 4) 学校からもらったおたよりやプリント類は、必ず持ち帰るよう子どもをしつけること、そして**親は必ず目を通す**こと、これを習慣化していただきたいです。情報を発信しても、見てもらわなければ伝わりません。また、学校には、目に留まる分かりやすいレイアウトや、**大切な情報が伝わりやすい工夫**を、さらにながらばってしていただけますでしょうか。
- 5) 学校教職員と学校運営協議会理事で行なったトイレ清掃は大変気持ち良かったです。次年度も計画的にやっていきましょう。この輪が広がって、**みんなでよりよい教育環境をつくる**という機運につながってほしいです。
- 6) 保護者の方々が、**もっと学校行事や授業参観・懇談会に参加して下さるとうれしい**ですね。そして、保護者どうして話すのは控え、我が子だけでなく、友だちの様子やクラスの雰囲気を見たり、時には声援を送ったりしてほしいです。

貴重なご意見、ありがとうございます。学校運営に反映させていただきます。